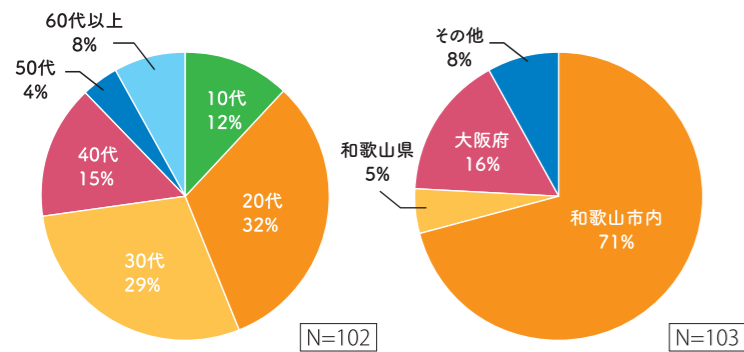


# アンケート結果

今年度はコロナ禍も落ち着き、来場者数は延べ402人でした。そのうち103人の方々にアンケートにご回答いただきました。結果の一部をご紹介します。

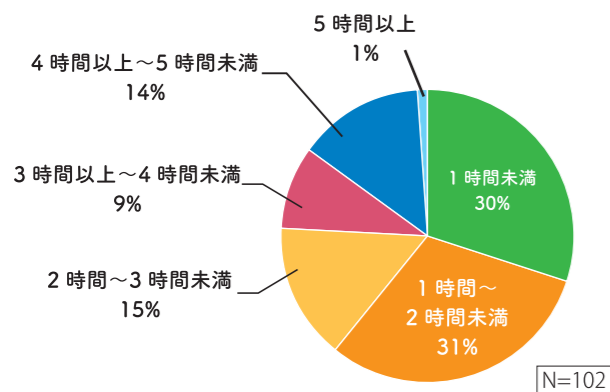
## Q. 回答者の年齢と居住地



今年度は例年と比べて、回答者の7割以上を30代以下が占める結果となり、若い世代の割合が増加しました。また、市内から来られた方が約7割を占めましたが、他府県からの割合が過去最高となりました。

## Q. 滞在時間はどのくらいでしたか？

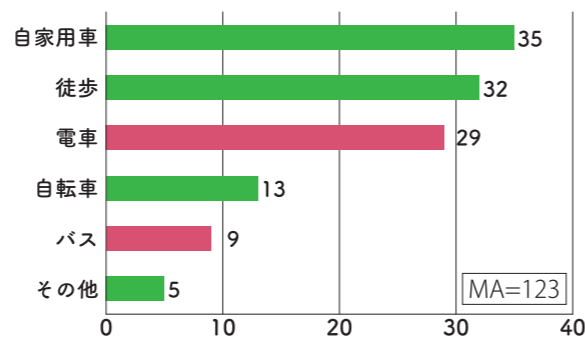
※滞在途中の場合は予定時間を回答。



平均滞在時間 99分

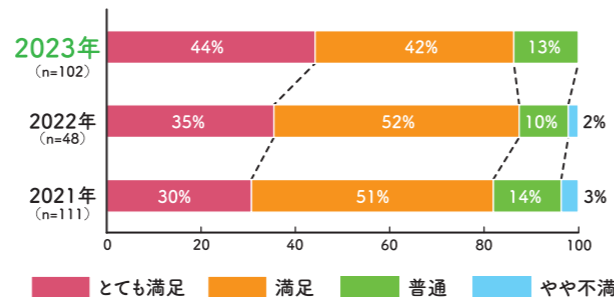
平均滞在時間は99分で、コロナ禍前の2019年(102分)に次ぐ長さとなりました。約7割の方が1時間以上、4割近くの方が2時間以上滞在したことがわかりました。

## Q. 今日はどの交通手段で来場されましたか？ (複数回答)



今年度も自家用車が最多、次いで徒歩となりましたが、電車、バスの利用が例年よりも増加し、公共交通によるアクセスが徐々に浸透してきたことがうかがえる結果となりました。

## Q. 全体の満足度について



今回は「とても満足」「満足」を合わせると9割近くとなり、特に「とても満足」と回答した人の割合が昨年より10%近く増加し、過去最高でした。規模を拡大し、見て回れるコンテンツが増えたことの効果もうかがえました。

今回の社会実験のアンケート結果(全体版)は(一社)市駅GGPのWebサイト「しえきのいま」のレポート記事にて公開しています。  
▶▶<https://shiekigpp.com/report/>

## キャンプ参加者の声

シエキノカワで初めて実施したキャンプ(宿泊体験)の参加者7組へのアンケートでは、今回の体験について3組に「とても満足」、3組に「満足」、1組に「やや不満」と回答いただき、今回の課題も含め、今後の活用につながる以下のような感想をいただきました。

景色などがよく、非日常を近隣で感じられた。

年1回でなく、定期的に開催してほしいです。

ペグが打ち込めないくらい地面が固かった。

チェックアウト後もテントを立てていられたので、イベントを楽しみながら過ごせるのがよかった! ゆっくり片付けできるので嬉しい!

便利な場所で、川沿いのロケーションもよかった。思っていたより静かでした。

## 編集後記

今年の「シエキノカワ」の社会実験では、眺望テラスの新設や会場演出の刷新、キャンプ体験の拡充、はたらくクルマなど、新たな試みを行い、より多くの方々に河川敷での時間を楽しんでいただくことができました。関係者の皆様、ご協力いただいた全ての皆様のおかげで、この社会実験も6年目を迎え、さらなる進展を遂げたように思います。心より御礼申し上げます。

この社会実験が、市駅周辺の身近な自然の中で時間を過ごす楽しさや魅力が市民の皆様にも広まっていく機会となれば幸いです。

和歌山市駅も開業から120年という節目の年を迎え、4代目となる現駅舎の完成から3年が経ちました。地域の皆さんと積み上げてきた様々な取り組みの上に、今後も新たな挑戦を続ける私たちでありたいと思います。

和歌山大学観光学部永瀬研究室  
3年生 佐藤隼



和歌山市駅初代駅舎  
戦前の絵はがきより  
(和歌山大学永瀬研究室所蔵)

# 市駅まちづくり通信 18

市駅開業120周年 & 紀の川改修100周年。地域の可能性を未来へ!

第18号 2023.12.18 発行: 市駅まちづくり実行会議 編集: 和歌山大学観光学部永瀬研究室



## 《シエキノカワでピクニック&キャンプ》開催!

今年も10月29日(日)に、市駅近くの身近な水辺空間である紀の川の魅力を体感する社会実験「シエキノカワでピクニック&キャンプ」を実施しました。紀の川を眺めながらつるげる水辺の縁側エリアや眺望テラス、カヌー体験、BBQなどのピクニック企画を用意し、河川敷のさまざまな楽しみ方を体験していただきました。

また、前日から芝生広場の隣接地にて、2年目となるキャンプ(宿泊体験)を実施したほか、今年は国による紀の川直轄改修事業の開始から100周年を迎えることを記念した特別企画として、災害時に活躍する特殊車両等の展示・乗車体験も実施しました。両日ともお天気に恵まれ、前日からのキャンプ体験は7組23人、日中のピクニックの延べ来場者数は402人(過去2番目)となり、多くの方々にお越しいただくことができました。



## 《和歌山市駅開業120年フェスタ》開催!

南海和歌山市駅の120年目の開業日にあたる3月21日(火)に、(一社)市駅グリーングリーンプロジェクトの主催で記念イベントを開催しました。当日は駅前広場をメイン会場に、和歌山市内の創業120年以上の老舗の出店コーナーや、子どもたちが持参したプラレールを走らせることができるトイレール広場、和歌山大学永瀬ゼミ生が企画した、市駅や和歌山の鉄道に関するクイズラリーなど、さまざまな催しが行われました。2020年に装いを新たにした和歌山市駅を舞台に、往年の市駅を知る年配の方から子どもたちまで、多くの方々に開業120周年を発信し、記念日を祝うことができました。



和歌山市駅開業120周年フェスタの実施内容については、(一社)市駅GGPのWebサイト「しえきのいま」のレポート記事にて公開しています。  
▶▶<https://shiekigpp.com/report/>

## シエキノカワでピクニック&キャンプ 実施内容

### 水辺のピクニック

#### ● 水辺の縁側

今年も川のほとりの芝生広場に、縁側に見立てた畳ベンチを設置し、憩いの空間を設けました。開放的な紀の川の景色を眺めながら軽食を楽しむなど、家族や友人とゆったりとした時間を過ごす様子が見られました。また、隣の音楽ステージで演奏されているさまざまな音楽に耳を傾け、心地よい風に吹かれながらくつろぐ様子も見られました。付近にはハンモックやデザインをリニューアルしたサインボードを設置し、子どもたちの笑顔とともに撮影していただくことができました。



#### ● 眺望テラス

今回は、ピクニックエリアの下流側に会場を広げ、その一角に紀の川を眺望できるテラスを設けました。そこから見える河西橋などの橋や紀の川と和歌山市の歴史を解説したパネルを展示するとともに、人工芝の上にデッキチェアやハンモックを設置し、ゆったりとくつろぎながら紀の川を一望できるような空間を提供しました。キャンプの宿泊者から日中の来場者まで、多くの方々にご利用いただくことができました。



### 音楽ステージ

今年の音楽ステージでは、和歌山大学の学生団体である吹奏楽団、ジャズ研究会 Uncle Jam、OGバンド jazz tadpolesの3団体による演奏が行われました。紀の川と青空をバックにした開放的な空間での演奏により、ピクニックエリア全体がおだやかな雰囲気になりました。また、ステージの周りに敷かれたピクニックラグや、飲食用のテーブル席など、会場のさまざまな場所でリラックスしながら演奏に耳を傾ける方々の様子が見られ、来場者・演奏者それぞれの皆さんにとって素敵な午後のひと時となったのではないかと思います。



### キャンプ（宿泊体験）

今年も昨年に引き続き、普段は宿泊できない河川敷での1泊2日のキャンプ（宿泊体験）を社会実験として特別に実施しました。今年は昨年度よりも規模を拡大し、7組の方々にご参加いただきました。参加者は夕方からキャンプサイトに持ち込んだテントを張り、夜にはBBQを楽しみながら家族や友人たちとの和やかな時間を過ごす姿が見られました。翌朝は河川敷の景色を眺めながら朝食をとったり、水辺のハンモックでくつろぐなど、さわやかな朝のひと時を過ごされていました。まちなかにほど近い河川敷での“アーバンキャンプ”の可能性を、あらためて確認することができました。



### はたらくクルマ

今年は国土交通省、自衛隊のご協力のもと、ピクニックエリアに隣接する第二会場に、災害時に活躍する特殊車両の展示・体験エリアを設けました。自衛隊ブースでは、メガクルーザーの試乗体験や制服の着用体験、記念撮影が行われ、なかでも試乗体験は行列ができるほどの大人気でした。また、国交省ブースでは照明車や排水ポンプ車の展示、紀の川の河川改修100周年を記念したパネル展示が行われ、多くの方が足を止めていました。



### アクティビティ

#### ● カヌー体験

エディーカヌースクールのご協力による毎年人気のカヌー体験は、親子連れを中心に20組40名の方々にご参加いただきました。今回も風が強かったようですが、カヌーを漕ぎながら、普段は体験できない水上からの紀の川の眺めを楽しまれました。特に電車が通る紀ノ川橋梁を下から見上げるのは大迫力だったとの感想をいただきました。



#### ● コーンホール体験

昨年も好評をいただいたコーンホールのデザインをリニューアルして今年も実施しました。幅広い世代の方々に体験していただき、新しいデザインもご好評をいただきました。何度も挑戦する子どもたちもおり、笑顔で遊ぶ姿が印象的でした。



#### ● シャボン玉体験・あおぞら紙芝居

今年も和歌山市地域子育て支援拠点「育ちのえきくすのき」のスタッフにより、子ども向けの紙芝居やシャボン玉体験を実施しました。親子でご参加いただき、多くの子どもたちが目を輝かせながらのびのびと楽しむ姿が見られました。



### 飲食・出店

#### ● フード・BBQ

(一社)市駅GGPIによる軽食や飲み物の販売、恒例の手ぶらで参加できるBBQ(事前予約制)を実施しました。感染対策の規制が緩和され、キッチンカーの出店が今年から復活したこともあり、多くの人に水辺での軽食やドリンクを楽しんでいただくことができました。



#### ● 農産物・特産品販売

今年もまちなか百姓養成塾による農産物販売が行われました。地域で採れた新鮮なサニーレタスやブロッコリーなどの農産物をはじめ、新米、生花、マフィンなどさまざまな商品が並び、県内の農産物の豊かさを発信していただきました。

